

日に日に寒さも増して、冬の訪れを感じる季節になりました。皆様、いかがお過ごしでしょうか。

平成24年度、家庭養護を推進するため、また家庭養護を担う里親の方々の支援のため、児童養護施設及び乳児院に「里親支援専門相談員」が配置できるようになりました。奈良県では平成25年度から、飛鳥学院と天理養徳院に配置されています。平成26年度を迎え、はや9ヶ月！至らない点は多々ありますが、「できることからやっていこう！」という思いで毎日取り組んでいます！季刊誌を通して活動の一部をお伝えしたいと思います。



「豆知識！勉強会」やってます。

月に1度ずつ、飛鳥学園と天理養徳院にて、里親サロン「おしゃべり広場」を開催しています。多くの里親さんに集っていただき、日々の不安や心配事、子どもの成長を感じて嬉しいことなどを気軽に話せる場になってほしいと思っています。

中でも今年度から、奇数月には「今日から使える豆知識！」と題し、短い時間ではありますが、テーマを決めて勉強会をさせていただきました。参加いただいたみなさん、ありがとうございました m(_)_m



子育ての方法や子育て支援の状況も時代と共に変化しています。以前は「赤ちゃんは少くらい泣かせていても肺が強くなるから…」なんてお聞きになったことありませんか？今は「赤ちゃんが泣けば泣きやませてくれる存在が大事」と言われています。赤ちゃんが発信した要求にすぐに応えることで、徐々に

自分で気持ちをコントロールする力が育つということが分かったからです。

今後も様々なテーマを検討して、継続していけたらと思っています。「こんなテーマでやってほしい！」など、ご意見をいただけたら大変うれしく思います。ぜひ里親支援専門相談員まで気軽にご連絡ください（阪口）。

子どもたちが遊べるスペースも用意しています。ぜひ、お子さんも一緒にご参加ください。



※豆知識のマスコットキャラクターです

夏なので、そうめん流しました！

8月のおしゃべり広場では、夏休み企画ということで、地域の里親さん・「NPO おかえり」のみなさんに協力をいただき、「流しそうめん大会」を開催しました。夏休みとあって、子どもたちにも参加いただき、総勢 26 人でのにぎやかな時間を過ごすことが出来ました。とっても良いお天気で、竹の中を眩しく流れるそうめんの味も格別でした！



今回のように、里親さん・里子さん・関係機関が交流できる機会を大事にさせてもらいたいなあと感じました。

そうめんやお菓子、めんつゆなどの寄付も里親さんからいただきました。本当にありがとうございました（阪口）。

飛鳥学院って、こんなところ！

里親さんから「飛鳥学院を見学したい！」というお声をいただき、10月のおしゃべり広場では飛鳥学院の見学会を開催しました。



飛鳥学院でおしゃべり広場を開催するようになり、1年ちょっと経過しておりますが、10月は過去最高の15名の里親さん(十とても可愛い女の子♡)にお越しいただきました！とても嬉しかったです。

そして、里親さんと施設とが少しではありますが、お互いのことを知る機会になったのではないかなと思います。またのお越しをお待ちしております♪（網島）



今までの豆知識コーナーでは・・・

H26.5月	発達障害について
7月	適切な期待値 (「コモンセンス・ペアレンティング」より)
9月	社会的養護の現状
12月	新生児～幼児期の生活習慣

5月

第1回目の豆知識勉強会では、「発達障害」をテーマに勉強しました。発達障害には自閉症やADHDなどいくつかの分類があり、「どれがどう

いった障害なのか良く分からない」といった意見もありました。また現在は「自閉スペクトラム症」と新たに区分されるようになりました。話し合う中で、「発達障害をもっているから～」という見方よりも、「この子の個性として苦手な部分・得意な部分を見つけ対応してあげるのか大事なのかなあ。」と感じていただいたようです。

7月

第2回目はコモンセンスペアレンティングという子育てのプログラムより「適切な期待値」について勉強しました。親は自然と子どもに「期待」

しています。たとえば「もう1年生だから～くらいできてほしいなあ」のように。でもそれは、その子にとって適切な期待かどうか……。無理な期待は親も子どもも辛くなってしまいます。一見、当たり前のような内容ですが、改めて考えてみると、無理な期待をしていたかも……と振り返られる里親さんもおられました。

9月

第3回目は「社会的養護の現状」について勉強しました。現在（H25.3）、全国に里親家庭は9392世帯、ファミリーホームは218ヶ所です。

一方、児童養護施設は595ヶ所。里親・ファミリーホームに委託されている児童は5407人、児童養護施設は28831人という現状でした。国としては、里親・ファミリーホームの数をもっと増やし、児童養護施設においても小規模な環境で子どもたちが生活できるよう進めています。

奈良県里親会でも、里親の啓発活動をされています。里親として子育てに奮闘しながらも、「自分の家に代わる家庭を求めている多くの子どもたちのために、里親だからこそ取り組める活動もあるのでは……」という話をする事ができました。



○その他の活動

里親認定前研修・更新研修への参加及び実習の受け入れ、里親ネットなら会議への出席
里親さん宅への家庭訪問、委託里子との面接、一時保護中の乳児の入院付添
子ども家庭相談センターと里親さんとの情報交換会への出席、入所児童の週末里親の調整、
入所児童の里親制度利用検討、里親制度についての施設内研修
地域小学校への里親制度の説明、ならヒューマンフェスティバルでの啓発活動への参加
近畿ブロック里親大会・全国里親大会など各種研修会への参加

○連絡先○

社会福祉法人 天理

児童家庭支援センター てんり(阪口・谷森)

〒632-0018

天理市別所町715番地3

TEL 0743-63-8162

FAX 0743-68-1721

[メール satooya-shien@welfaretenri.com](mailto:satooya-shien@welfaretenri.com)

社会福祉法人 飛鳥学院

児童家庭支援センター あすか(網島)

〒633-0053

桜井市谷265番地4

TEL 0744-44-5800

FAX 0744-44-5811

編集後記

季刊誌『里親支援なら』をお読みいただきましてありがとうございます。(“季刊誌”と言いながら、すっかり不定期になっていますが(汗))

最近、乳幼児に関する研修を受講する機会がありました。赤ちゃんの視力について、2歳児での視力は0.5ほどしか見えていないため、子どもに声をかけるときは近づいてからが良いとのこと
です。大人で視力が0.5だと眼鏡等で視力矯正するレベルです。子どもはそんなに見えていないのかと驚きの発見でした。子どもの発達段階を知識として知ること、子どもを見守っていく上で本当に大切だということを改めて考えさせてもらう機会となりました。(網島)

今年度のおしゃべり広場は・・・

	飛鳥学院	天理養徳院
12月	2日(火)	11日(木)
1月	13日(火)	8日(木)
2月	3日(火)	12日(木)
3月	3日(火)	12日(木)

※10:00~12:00

の予定で開催しています。